琉球政府文書デジタルアーカイブ

The GRI Records Digital Archive 1945・1972

GRI: Government of the Ryukyu Islands

琉政だより

NO.13

2020年9月

文化財保護と博物館

R00098261B, 68頁

『琉球政府立博物館 館報 1968年』6頁

写真番号020309

https://www3.archives.pref.okinawa.jp/GRI/

琉球政府の時代では

沖縄がアメリカ統治下にあった戦後 27 年間の経験を次世代に繋ぐため

琉球政府の公文書等をアーカイブし公開しています

※琉球政府文書デジタルアーカイブはこちらのサイトからご覧になれます

琉球政府の時代

米国統治下の沖縄において「琉球文化」を体現する文化財はどのように保存・活用されてきたのでしょうか。琉球政府文書デジタルアーカイブから、文化財保護の取り組みに大きな役割を果たした文化財保護委員会と琉球政府立博物館（ともに文教局所管）に関する文書を紹介します。

琉球政府立博物館

1953.5 首里博物館新館開館（首里当蔵）

＊東恩納博物館と合併

『琉球政府立博物館 館報 1968年』3頁

R00097948B, 6頁

文化財購入

1963 年 2 月の文化財購入の申請書。鳥取県で購入する品目として、沈南蘋や鄭和橋らの画幅や宜湾朝保の短冊などが列記されています。

1954.6 文化財保護法

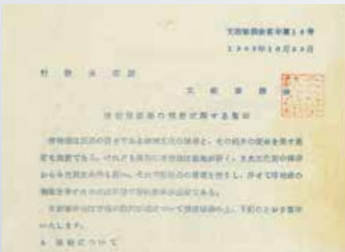
文化財保護法

R00161074B, 6頁

1954 年 6 月、琉球立法院は「文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もつて住民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」を目的とする文化財保護法（1954 年立法第 7 号）を制定、同法によって文化財保護委員会が設置されました。また、「文化財」の定義がなされ、とくに重要なものは（特別）重要文化財、（特別）史跡名勝天然記念物に指定されました。

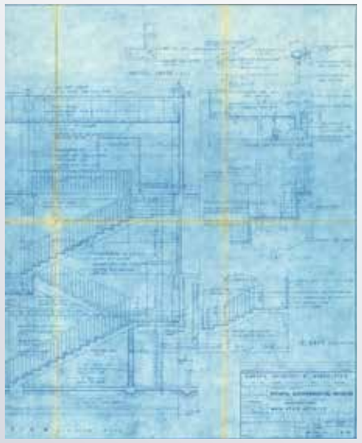
1955.10 琉球政府立博物館に改称

新館建築に向けて



R00164634B, 3頁

「民族の誇りである琉球文化の保存と、その紹介の使命を果す重要な施設」である博物館の移転新築を求める 1963 年 10 月の文教審議会の答申。



新館建設工事の図面　R00097657B, 16頁

文化財保護委員会

指定文化財の例

（特別）重要文化財

建造物
崇元寺石門
園比屋武御嶽
玉陵
座喜味城跡
権現堂神殿

美術
崇元寺下馬碑
小禄墓内「石厨子」

工芸
翁長開鐘
旧首里城正殿前梵鐘

（特別）史跡名勝天然記念物

史跡
玉陵、今帰仁城跡
円鑑池および弁財天堂跡
中城城跡、円覚寺跡
首里城跡、ハンタン山
ドイツ皇帝博愛記念碑

名勝
斎場御嶽、轟の滝
首里金城町石畳道

天然記念物
しまちすじのり、のぐちげら
名護のひんぷんがじまる

（『文化財要覧　1965 年度版』）

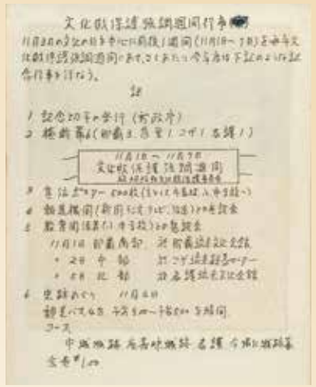
R00098295B, 6, 16頁

文化財の調査研究

文化財保護委員会は、文化財の保存及び活用、文化財に関する調査研究を行いました。1955 年 9 月の文化財保護委員会の日誌によると、塩屋海神祭や今帰仁村の棒術「今泊棒」の調査を行っています。また、同年 12 月には「守礼門復元期成準備委員会」に関する記述もあります。（守礼門は 1958 年 10 月に復元されました）

文化財保護強調週間

文化財保護に対する住民の関心を高めるため、1963 年から文化財保護強調週間の取り組みがはじまります。記念切手の発行や、指定文化財の史跡めぐりなどが行われました。



R00098261B, 67-69頁

1965.6 文化財保護法全面改正

1966.11 新館開館（首里大中の尚家跡）

写真番号020309

日本からの技術指導

沖縄の文化財に対して、日本政府からも技術指導がなされました。文部省文化財保護委員会は、昭和 40 年度に 4 名の職員を沖縄に派遣、うち 2 名は 15 日間滞在して指導にあたりました。

R00098278B, 105頁

※「琉球政府文書」は、1945-1972年までの米国統治下において住民側の行政機構が作成した公文書です。

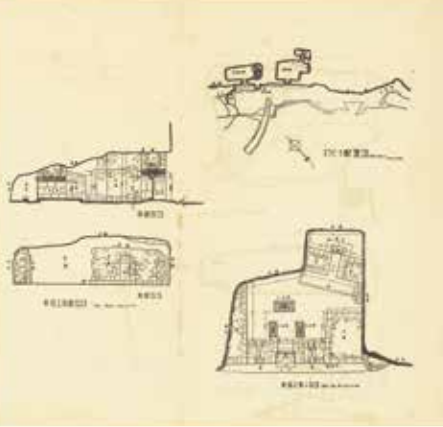
Rではじまる10桁の資料コードを使って資料を閲覧できます。「琉球政府の時代」>資料を検索する>コード検索>検索ボックスに資料コードを入力> をクリック

文化財保護委員会 と 琉球政府立博物館 が発行した 刊行物 を紹介します

『文化財要覧』

文化財保護委員会の『文化財要覧』には、関連法規や指定文化財一覧が掲載されています。また、写真や図を用いて指定文化財の解説もなされています。

『文化財要覧 1960年度版』7頁



『文化財要覧 1956年度版』
21-22頁

『琉球政府立博物館 館報』

1968 年 6 月創刊の『琉球政府立博物館 館報』からは、館の沿革、予算の推移、所蔵資料現在高、資料購入点数の推移、館所蔵の指定文化財などを知ることができます。また、博物館で開催された展示会の様子も紹介されています。

『琉球政府立博物館 館報 1970年』8-9頁

『琉球政府立博物館 館報 1968年』3, 6頁

刊行物

『文化財要覧』と『琉球政府立博物館 館報』は、
「琉球政府の時代」>注目資料をみる>刊行物からご覧になれます。

琉球政府文書デジタルアーカイブ 琉政だより　NO.13
発行日:令和2年9月30日　編集発行:(公財)沖縄県文化振興会　公文書管理課
〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川148-3 沖縄県公文書館内
電話:098-888-3875(代表)　FAX:098-888-3879

沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives